

JAFRA NEWS

公益社団法人 日本鉄道広告協会 会報

Japan Association for Rail Advertising

10月号
Vol.26
2014年10月1日発行

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階

TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp

URL：http://j-jafra.jp/



グランプリを獲得した(株)日本経済新聞社 八田亮一様(右)と(株)ジェイアール東日本企画代表取締役社長 小暮和之氏(左)

「交通広告グランプリ2014」は、2013年4月から2014年3月までの期間に、(株)ジェイアール東日本企画が販売・管理を行っている駅および車両のメディアに掲載された交通広告作品を審査対象とした、交通広告最大の広告賞で、今年で26回目を迎えました。

7月28日(月)に、「交通広告グランプリ2014」の各受賞作品の発表および贈賞式・祝賀パーティーが、ホテルメトロポリタン(池袋)で開催されました。

主催：株式会社ジェイアール東日本企画

「交通広告グランプリ2014」 グランプリは、(株)日本経済新聞社 「日経電子版やわらか経済NEWS」が受賞!!

この広告賞に、当協会は後援として参加しており、協賛の「東日本旅客鉄道(株)」(株)東京メディア・サービス」と共に交通広告の更なる発展に寄与することを目的としています。

審査作品数は総計1777点で、仲畑貴志審査員長を始めとした8名の審査員による厳正なる審査の結果、グランプリ1点、各部門の最優秀部門賞5点と優秀作品賞25点、JR東日本賞1点の計32点が選出されました。

最高賞であるグランプリに輝いたのは、(株)日本経済新聞社「日経電子版やわらか経済NEWS」でした。

好奇心をくすぐる質問で見た人を検索へと誘導する、シンプルながらも車内のユーザー行動を見据えた優れたアイデアだと評価されての受賞となりました。今年で5年目を迎えたデジタルメディア部門では、インパクトあるイラストレーションを大胆

グランプリ



株式会社日本経済新聞社： 日経電子版 やわらか経済NEWS

【審査員一覧】

●審査員長	仲畑 貴志氏	コピーライター
●審査員	川口 清勝氏	アートディレクター
	十文字 美信氏	写真家
	副田 高行氏	アートディレクター
	田中 里沙氏	宣伝会議取締役編集室長
	前田 知巳氏	コピーライター
	原野 守弘氏	クリエイティブディレクター
	日野 正夫氏	東日本旅客鉄道(株) 執行役員事業創造本部副本部長

※敬称略

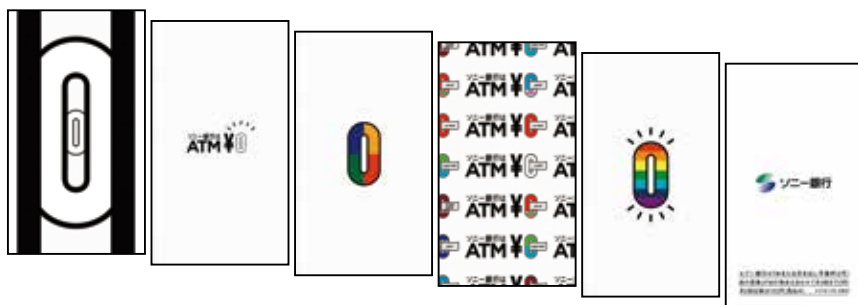
なレイアウトで見せる作品が目につきました。また、中ぶりやまど上などの既存媒体に新しい活用方法を提示したアイデア性の高い作品が印象的でした。

贈賞式・祝賀パーティーは、受賞広告主・広告会社の皆様、審査員の方々、プレス関係者、協賛社を代表して東日本旅客鉄道(株)常務取締役事業創造本部一ノ瀬俊郎氏、同執行役員事業創造本部副本部長 日野正夫氏、(株)東京メディア・サービス代表取締役社長 佐々亨氏、当協会今木甚一郎会長らが出席し、盛大に行われました。

「交通広告グランプリ 2014」受賞作品リスト

部門	賞名	クライアント名	タイトル
グランプリ		株式会社日本経済新聞社	日経電子版 やわらか経済NEWS
デジタルメディア部門	最優秀部門賞	ソニー銀行株式会社	金融サービスをもっと身近に「ATM0円」篇・「500円からの外資積み立て」篇
	優秀作品賞	株式会社ルミネ	ルミネ チェック ザ バーゲン 2013
		秋田県観光キャンペーン推進協議会	だれだ？秋田だ！
		ヤンマー株式会社	PBP オープニングムービーベース
		株式会社ぐるなび	ぐるなび新歓送迎会キャンペーン2014「ネコ篇」
		全日本空輸株式会社	旅割 ニュウってなんなのよ篇
車内ポスター部門	最優秀部門賞	エイベックス・デジタル株式会社	二人はdビデオを見ていた
	優秀作品賞	株式会社フジテレビジョン	開局55周年キャンペーン「55年目、目の色変えます。フジテレビ」
		日本たばこ産業株式会社	ルーツ アロマシリーズ「それでも、前を向く。」
		株式会社ルミネ	ルミネ チェック ザ バーゲン 2013冬
		日本放送協会（NHK）	NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」
		マツダ株式会社	Be a driver.
駅ポスター部門	最優秀部門賞	東日本旅客鉄道株式会社	「行くぜ、東北。」
	優秀作品賞	新潟ブランドイメージ発信実行委員会	うまい！は、すぐそこ。
		LINE 株式会社	エンジニア、とーまれ♪
		日本マクドナルド株式会社	BITE! QUARTER POUNDER
		サントリーホールディングス株式会社	ペプシは健康へ。
		株式会社クロスカンパニー	アースミュージック＆エコロジー パノラマ新宿
サインボード部門	最優秀部門賞	ラフォーレ原宿	in and out. Life is beautiful. Laforet
	優秀作品賞	株式会社横浜岡田屋 横浜モアーズ	LUCKY OFF
		四国タオル工業組合	imabari towel Japan
		ソフトバンクモバイル株式会社	つながりやすさNo.1（吉永小百合篇）
		サントリーホールディングス株式会社	未来へ森を贈ろう。GIFT!
		株式会社東芝	海のうえで
企画部門	最優秀部門賞	パナソニック株式会社	LUMIX GM × 綾瀬はるか トレインギャラリー
	優秀作品賞	公益財団法人日本習字教育財団	日本習字創立60周年記念事業「山手線de習字作品展」
		株式会社オリエンタルランド	東京ディズニーリゾート「ディズニークリスマス2013」キャンペーン
		株式会社講談社	100万回生きたねこ
		株式会社バンダイナムコゲームス/株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント	JOJO ALL STAR BATTLE TRAIN
		サンエックス株式会社	リラックマ10周年企画 Rilakkuma Yamanote Line
JR 東日本賞		江崎グリコ株式会社	PRETZ「Pしよう。」

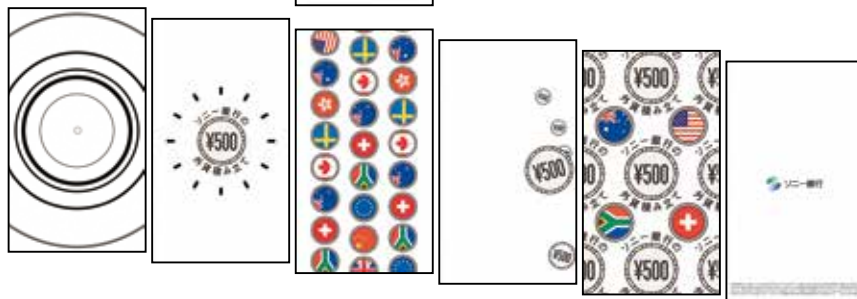
デジタルメディア部門



●最優秀部門賞

ソニー銀行株式会社

金融サービスをもっと身近に「ATM0円」篇・
「500円からの外貨積み立て」篇



●優秀作品賞 株式会社ルミネ： ルミネ チェック ザ バーゲン 2013



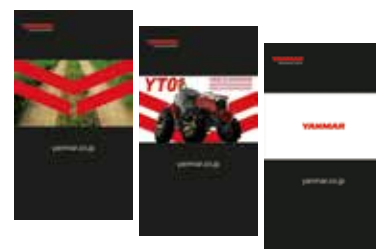
●優秀作品賞 秋田県観光キャンペーン推進協議会： だれだ？秋田だ！



●優秀作品賞

ヤンマー株式会社

PBP オープニングムービーベース



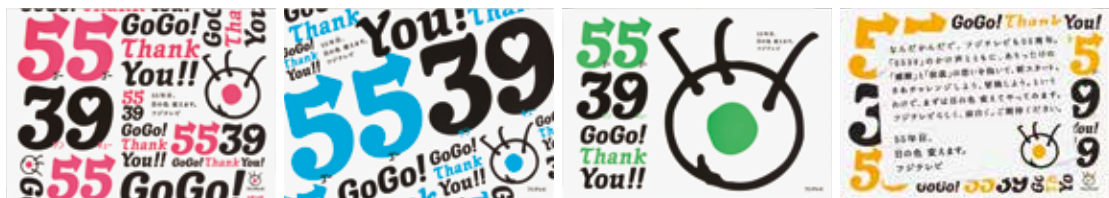
●優秀作品賞 株式会社ぐるなび： ぐるなび新歓送迎会キャンペーン2014「ネコ篇」



●優秀作品賞 全日本空輸株式会社： 旅割 ニュウってなんなのよ篇



●最優秀部門賞 エイベックス・デジタル株式会社: 二人はdビデオを見ていた



●優秀作品賞 株式会社フジテレビジョン: 開局55周年キャンペーン「55年目、目の色変えます。フジテレビ」



●優秀作品賞 日本たばこ産業株式会社: ルーツ アロマシリーズ「それでも、前を向く。」



●優秀作品賞
日本放送協会 (NHK)
NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」



●優秀作品賞
マツダ株式会社: Be a driver.



●優秀作品賞 株式会社ルミネ
ルミネ チェックザバーゲン 2013冬

駅ポスター部門



●最優秀部門賞 東日本旅客鉄道株式会社: 「行くぜ、東北。」



●優秀作品賞 新潟ブランドイメージ発信実行委員会: うまい! は、すぐそこ。



●優秀作品賞 LINE株式会社: エンジニア、とーまれ♪



●優秀作品賞 日本マクドナルド株式会社: BITE! QUARTER POUNDER



●優秀作品賞
サントリーホールディングス株式会社
ペプシは健康へ。

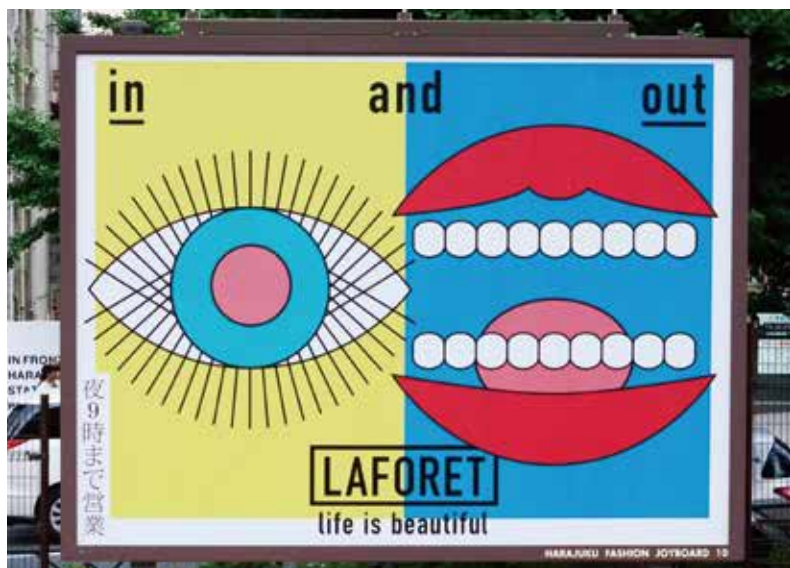


●優秀作品賞
株式会社クロスカンパニー
アースミュージック&エコロジー パノラマ新宿

●最優秀部門賞

ラフォーレ原宿

in and out. Life is beautiful. Laforet



●優秀作品賞 四国タオル工業組合: imabari towel Japan



●優秀作品賞
ソフトバンクモバイル株式会社
つながりやすさNo.1(吉永小百合篇)



●優秀作品賞 株式会社東芝: 海のういで



●優秀作品賞
株式会社横浜岡田屋 横浜モアーズ
LUCKY OFF



●優秀作品賞
サントリーホールディングス株式会社
未来へ森を送ろう。GIFT!

企画部門



●最優秀部門賞 パナソニック株式会社: LUMIX GM × 綾瀬はるか トレインギャラリー



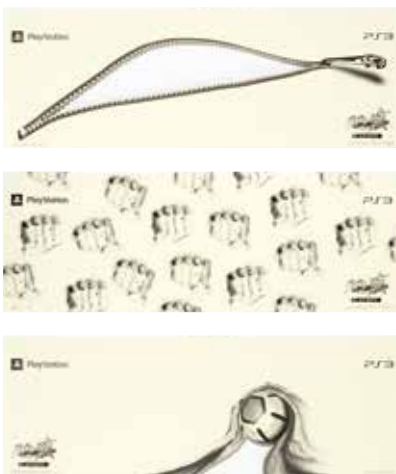
●優秀作品賞 公益財団法人日本習字教育財団
日本習字創立60周年記念事業「山手線de習字作品展」



●優秀作品賞
株式会社講談社
100万回生きたねこ



●優秀作品賞
株式会社オリエンタルランド
東京ディズニーリゾート「ディズニークリスマス 2013」キャンペーン



●優秀作品賞
株式会社バンダイナムコゲームス/株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント
JOJO ALL STAR BATTLE TRAIN

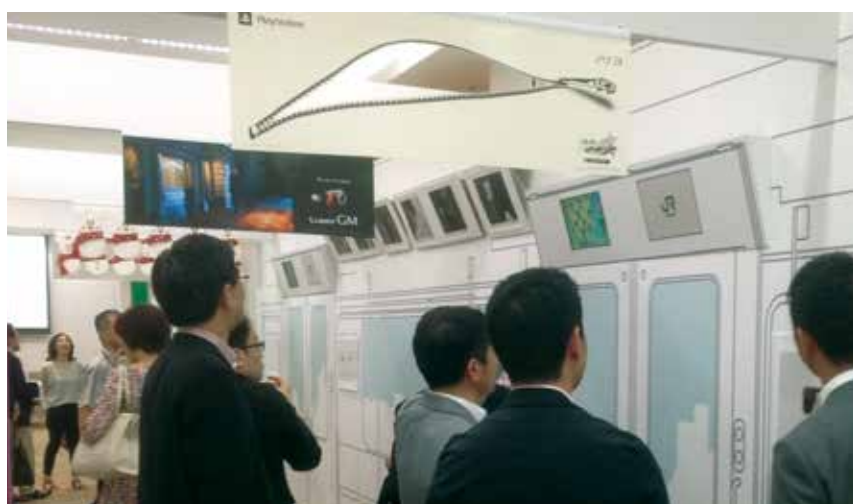


●優秀作品賞
サンエックス株式会社
リラックマ10周年企画
Rilakkuma Yamanote Line



● JR 東日本賞 江崎グリコ株式会社: PRETZ「Pしよう。」

「交通広告グランプリ2014 受賞作品展示会」開催!!



車内体験ゾーン(グランプリ・デジタルメディア部門・企画部門・JR東日本賞の作品を用い、トレインチャンネル、中づり、ドア横新B、まど上を再現した)



駅メディア部門ゾーン(奥にはJ・ADビジョン、左右に企画部門・駅ポスター部門、サインボード部門を配置した)



J・ADビジョン(東京駅)



京浜東北線・根岸線ADトレイン

ジェイアール東日本企画が主催する「交通広告グランプリ2014」の受賞作品展示会が、東京駅に隣接する「サピアタワーステーションコンファレンス東京」で8月20日、21日の2日間にわたり開催された。今年より、受賞作品展示会の形を変え、広告主・広告会社を招待し、交通広告の効果を体感していただけるような展示方法となっている。会場内は車内体験ゾーン、車両メディア、駅メディアにゾーニングされ、車内体験ゾーンでは、実際の車内を模した装飾に加え、中づりやドア横、トレインチャンネル、まど上を展示し車内風景を再現した。またBGMで発車メロディが流れており、より臨場感を高める演出がされていた。来場者にも好評で、盛況のうちに終わった。

あわせて、8月16日～31日までの期間、受賞作品32点で車内をジャックした京浜東北線・根岸線ADトレイン「交通広告グランプリ号」が運行された。また、東京駅構内のJ・ADビジョンでは、受賞作品展告知と今回の受賞作品が閲覧出来る交通広告グランプリ特設サイト(awards.jr.co.jp)の告知展開が実施された。

広場

「ウナギと新幹線」

会長 今木 甚一郎 (公益社団法人 日本鉄道広告協会)

この号は10月1日発行と聞いていますので、いささか時期遅れの感があります。夏バテ防止によく効くという「ウナギ」。夏真っ盛りの土用の丑の日にはウナギを食べる習慣がありますが、近年ウナギの稚魚シラスウナギの激減により価格が文字通り「うなぎ上り」して、気軽に食卓に上るものでなくなっていたところへ、この6月、国際自然保護連合から二ホンウナギが絶滅危惧種に指定され、レッドリストに掲載されました。土用の丑の日を前にこれは……と思った方も多いと思います。

私の場合、幸か不幸か、ウナギは今や唯一の苦手な食べ物になっています。元々大好きだったウナギが苦手になったのは国鉄時代になったのはウナギを食べ過ぎたからです。

今から40年前の話になりますが、東北新幹線が大宮駅から南下して荒川橋梁を渡るまでの約10kmの区間、人家密集地帯を通過するというところで、当初は地下ルートでの発表がありました。ところがその後の詳細な技術的検討の結果、地下水位の高い超軟弱地盤地帯にトンネルを



うなぎ

建設し、将来にわたり正確にメンテナンスしていくことは事実上不可能であることが判明し、地上高架ルートに変更されました。これに対し、騒音・振動等の公害、市街地の分断、家屋の立ち退きや用地買収・等々を理由とした強力な反対運動が起りました。私は、これを解決すべく、地元への切り込み隊長（まだ30過ぎの青年技師）に任命され、文字通り夜討ち朝駆け、土日返上で地元を駆けずり回りました。

そして、大事な場面

では地元の割烹で、懇親しながらお願いをするという機会が何度もありました。与野市・浦和市（現在のさいたま市）及び戸田市のいわゆる県南三市それぞれの、執行部、議会、地元自治会……等々、「相手変われど主変わらず」、時として昼・夜連チャンの日もありました。そして、当地域の一番の御馳走はウナギのフルコース（骨の唐揚げ・かぶと煮・肝焼き・肝吸い・白焼き・蒲焼・う巻・ひつまぶし・お土産用のにらみ・ウナギの卵）から選択して組み合わせだったのです。最初の頃は、仕事で好物のウナギがふんだんに食べられること

が大いなる喜びだったのですが、回を重ねる毎にそれはほとんど耐え難い苦行に変わっていききました。そして何とか反対決議撤回、用地買収・着工にこぎつけた頃にはもう完全にウナギ恐怖症になってしまいました。

それにしても、ウナギの旬は、冬眠に入る前の秋から冬にかけてが最も脂がのって美味しく、夏はいまひとつらしいのですが、200年も前に夏に売り上げが落ちるウナギ屋から相談を受けた平賀源内が、「土用の丑の日にはウナギを食べると精がつく」と売り出したのははじめという説があります。これも一種のプロモーションですが、当時のネットワークで全国に広がり、現在も十分浸透しているというのはすごいことだと思っています。

新幹線や埼京線（地元へのメリットの意味からも新幹線に併設されたのが起源）で、この地域を通るたびに何かと懐かしさ感慨ひとしおです。



新幹線と埼京線

次回もお楽しみに。

中部支部

中部支部総会を開催

平成26年7月22日(火)、レセプションハウス名古屋通信会館において中部支部会員34社中26社の参加のもと、平成26年度中部支部定期総会が開催されました。

開会にあたり(株)ジェイアール東海エージェンシー代表取締役社長 阿久津支部長より、「昨年は会社によって好不調が分かれる業績でしたが、今年は大手9社ともに前年を上回っており、日本経済についても強気の



支部総会で挨拶する阿久津支部長

見方をする経営者が多いようです。社会のインフラを担う鉄道の広告は、人々の生活に密着しながらその姿を変えてきました。交通広告は駅や人々の生活の変化に併せて形を変えて行く必要があります。昨年度までを振り返り、今年度以降の交通広告の在り方について議論し、会員各社様のご協力のもと交通広告業界の発展に尽力していきます。」と挨拶がありました。

報告事項として平成26年6月27日(金)に開催された本部定期総会について「平成25年度活動実績」及び「平成26年度事業計画」の報告が事務局よりありました。

続いて以下の議案について審議を行い、全て満場一致にて原案通り承認決議されました。

【総会】

- ・平成25年度事業報告
 - ・平成25年度決算
 - ・平成26年度事業計画
 - ・平成26年度予算
 - ・役員の選任について
- 監査報告については会計責任者の(株)近宣名古屋支社長 井野口氏より報告がありました。

【セミナー】



セミナー講師の戸練直木氏

カゼプロ(株)代表取締役 戸練直木氏による「勝てる広告営業」というテーマで2時間のセミナーを開催し、97名の方に参加していただきました。広告営業としてクライアントとの人間関係をどう構築していくか、他代理店扱いのクライアントへどう食い込んでいくかなど、ご自身の経験を数多く交えて講演いただきました。参加者は戸練様が基本的な営業活動に加えて考えられたこと、取り組みましたことを真剣な表情で聴講していました。

【懇親会】

(株)電通名鉄コミュニケーションズ代表取締役社長 伊藤副支部長の挨拶・乾杯に始まり、出席された支部会員の皆様は和やかな雰囲気の中、会員各社の親睦を深めました。



乾杯の発声をする伊藤副支部長

首都圏支部

支部総会を開催しました

去る7月25日(金)、首都圏支部(小暮和之支部長)ではメトロポリタン

ホテル カシオペアにおいて、39社51名（委任状による出席49社）が参加し、平成26年度JAFRA首都圏支部総会を開催しました。

小暮支部長の挨拶の後、平成25年度の事業報告、26年度の事業計画及び予算などについて審議が行われ、議案はすべて了承されました。

総会終了後、花王株式会社 デジタルコミュニケーションセンター室長 本間充氏をお招きし、「今後ますます広がるエリアマーケティング広告」と題したセミナーを開催、会員の皆さまは熱心に聴講されていました。

また、懇親会に参加された皆さまは和やかに歓談され親睦を深められました。



出席された会員社の皆さま

詳細については以下の通りです。

【小暮支部長挨拶】

お忙しいところ、支部総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

4月からの消費税増税ということでの影響を心配しておりましたが、先日、第一四半期が終了し締めところ、鉄道広告全体では総体としてほぼ前年並みの売り上げ水準まで戻ってきたように思われます。今後の最大の難関は消費税率10%が決定される時だと思えます。10%になった時にマーケット及びクライアントサイドがどのように受け取るのかを非常に注目しております。



議事進行する小暮支部長

我々が携わっている鉄道広告も日々進歩しています。車両のデジタルサイネージについては直通運行により相互乗り入れする各社の車両にも導入が進み、また、駅メディアにおいても新駅開業に伴って新しい形態のデジタルサイネージが出来上がってきます。また、ハードな面だけでなく様々なコンテンツや売り方の工夫といったソフトの面もさらに重要になってくると思います。

こういった状況の中、頑張つてまいりますので、本年度も首都圏支部をよろしく願ひいたします。

【支部総会】 15時00分

■議案

- (1) 平成25年度活動報告及び収支について
- (2) 平成26年度首都圏支部幹事（案）について
- (3) 平成26年度活動計画（案）及び予算（案）について

【セミナー】 16時00分

■講師 花王(株)デジタルコミュニケーションセンター室長

本間充氏

■演題 「今後ますます広がる

エリアマーケティング広告」

【懇親会】 17時30分

編集後記

来年3月に開業予定の北陸新幹線が停車する富山駅はリニューアル工事の真っ最中です。富山駅に停車する特急に「サンダーバード」がありますが、英語で「雷鳥」のことは thunder bird（サンダーバード）とは言わないよ、「Rock ptarmigan」ていうんだよと英国人の知り合いに教えられて以来、サンダーバードと聞くとそのことを思い出します。

今回は12月号です、皆さまのこの冬のイチオシ教えてください。



●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。 information@j-jafra.jp

●会員社の代表者が変更になった場合など、変更届はホームページ (<http://j-jafra.jp>) の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力お願いします。

●次号Vol.27は12月1日発行予定です。お楽しみに。

今年も「エキからエコ。」にご協力をありがとうございました

第8回地球温暖化防止
キャンペーン実施報告

今年は曜日の関係で、2014年8月1日(金)～31日(日)まで、まる1か月の間、今年で8回目の地球温暖化防止キャンペーンを展開し、無事終了いたしました。

今年の夏は、昨年ほどの暑さではなかったようですが、北海道では観測史上最高の37・8℃を記録し、90年ぶりに最高気温を更新したというニュースや、7月中に全国の1/4の観測地で猛暑日を記録したということもあり、連日、熱中症に喚起を促す注意報が発令されていました。一方、西日本を中心に各地で記録的な大雨が続き、これは気象庁によって「平成26年8月豪雨」と命名されるに至っています。

そのような気候の続く中、駅や車内に「エキからエコ」のデジタルサイネージで展開され、多くの方に目にしていたことができたと思います。

夏休みの帰省や旅行で鉄道を利用される多くの皆さまに、改めて「エコ」について考えるきっかけとなったり、

ご家族で話し合っていただけでもなメッセージをデジタルとコピーに込めて、JR、私鉄、地下鉄を含む35社の鉄道会社をはじめ、関係するハウスエージェンシー、広告会社、掲出撤去作業会社のご協力により、全国拠点をエリアの鉄道メディアを活用して延べ50万枚のポスターを掲出することができました。

クリエイティブ

制作も、おなじみとなりました著名アーティスト及びクリエイターの皆さまにキャンペーンの趣旨に賛同いただき、ボランティアとしてご協力をいただきました。

キャンペーンに関係してくださった多くの皆さまに、深く謝意と敬意を表させていただきます。

今回も、多くの皆さまが駅や車内で撮

影したポスターの写真をSNSなどを通して「エキからエコ」の情報を共有されていました。以下はその一部です。

- ・エキからエコ。宮田亮平さんっ！高校の大先輩。
- ・エキからエコって書いてあって何かと思った。てかネコじゃねーし。トラだし。

- ・エキからエコという中吊り広告のイラストがめっちゃかわいいなと思った。日比野克彦さんでした。
- ・JR東海のエキからエコ。今年も日本画家の手塚雄二さんが参加している。写真であっても大画面で作品が見られるから嬉しいのよ。
- ・「エキからエコ」を見るたびに口角上げてる。



JR北海道・札幌駅



JR東日本・あおば通駅



JR東日本・高崎駅



JR東日本・渋谷駅



東京メトロ・麹町駅



西武鉄道・所沢駅



京浜急行電鉄・品川駅



横浜高速鉄道・横浜駅



JR東海・鶴舞駅



阪急電鉄・梅田駅



JR西日本・岡山駅



南海電気鉄道・なんば駅



JR四国・松山駅



JR九州・大牟田駅



西日本鉄道・西鉄福岡(天神)駅